

すくわくプログラム報告書

施設名	田中ナースリー大和保育園
クラス	幼児
日付	2025. 8. 28

1 活動のテーマ

<テーマ>

水・砂・泥

2 <テーマの設定理由>

普段から水に触れることが好きな子が多く、水の特徴を知り、遊びを深めて欲しいため。

3 環境の設定

<活動のために準備した素材や道具>

使用した道具

・食紅 ・たらい ・水 ・水遊び用具

砂、泥に加えて、色水も準備した。

食紅を「たらい」に入った水に入れ、色ができる不思議さを感じたり、混ぜた色が何色になるか予測し、色の発見を楽しめるようにした。食紅は保育者が扱い安全に配慮する。

4 探索活動の実践

タライやバケツ、カップなどそれぞれ水をつくい、砂を入れて泥になる様子を楽しんでいる。保育者が色水を準備し、子どもたちは興味をしめす。自分で使える道具を使って、色水に触れ始める。色が変わったことに興味をもつ。

子 「青色になったー」
「こっちも入れてー」
「先生見てー」



色ができたことが嬉しくて、保育者に何度も知らせる。

保 次は何色入れたいかなー
混ぜると何色になるかな



子 「次は赤色にするー」
「何色になるかなー」
「こんな色になった！」

子どもたちが集まり、見たいと覗きこむ。

保 ジュースみたいだね



子 「メロンジュースでーす」
「はいどうぞ」

4 振り返り

色が変化したことを保育者に何度も伝えるくらい子どもたちが喜ぶ様子が見られた。次々に食紅を入れてという声が聞かれ大変ではあったが、楽しむ姿に嬉しく感じた。透明感もあり日差しに透かしてキラキラした色水を観察する姿もあった。

(探究にはもう少し人数を少なくした方が、じっくりと色の変化を楽しむことができたと思った)

普段の水遊びでは、水鉄砲に水を入れて友だちと掛け合うことが多かったが、色水遊びでは、同じ玩具を用意しても、容器に水を入れて流したり、手でかき混ぜるなど、不思議さや色の変化に集中していた。普段とは違う水遊びが体験でき、また子どもの発見にもつながり良かったと思う。